

平成26年度学校評価

～平成27年度に向けて～

1 平成26年度の学校評価

(1) 平成26年度の重点目標

- ア 学ぶ意欲の喚起を目指した授業改善の推進
- イ 自己肯定感・自己有用感・帰属意識の醸成
- ウ 望ましい未来像設計（フューチャーデザイン）の啓発
- エ 保護者・地域・中学校への情報発信の充実

(2) 本年度の学校関係者評価を実施する主な評価項目

- ア 生徒の主体的な活動を促し興味関心を高めるための授業改善について
- イ 生徒に充足感を与えることができる教育活動の推進について
- ウ 自ら将来を考えるキャリア教育の充実について
- エ 本校の教育活動をよりよく伝えることのできる情報発信方法について

(3) 重点目標の達成に向けた取組と評価



- ア 生徒の主体的な活動を促し興味関心を高めるための授業改善について

主な取組	自己評価結果
(ア) 生徒の取組の意欲を喚起する魅力ある授業づくりを行う。また、学習評価についてさらに研究を進める。【教務部・各学年】 	<ul style="list-style-type: none">○ 授業参観週間に積極的に参観するよう呼びかけなどしたが、十分とはいえない参観状況であった。○ 学習評価については、授業中の状況や課題の提出など、様々な視点から生徒の取組意欲を評価するための工夫を試みた。一定の成果はあった。○ 中学校の授業を参観させていただいた後、校内で話し合う機会をもち、見習うべき点等について情報を共有できた。○ 学習学力検討会において、様々な角度から学習意欲向上のための情報を共有することができた。
(イ) 生徒が落ち着いて授業を受けられるよう、学習環境の改善に努める。【教務部・保健厚生部・生徒指導部・各学年】	<ul style="list-style-type: none">○ 生徒の登校前に教員が教室整備を行う取組を通して生徒が落ち着いて授業に臨むきっかけをつくることができた。
(ウ) 高大連携事業の充実【教務部】 	<ul style="list-style-type: none">○ 連携は2・3年理系クラスでの実施にとどまった。調査を主体にした講座を開設し、主体的に学ぶ機会をもつことができた。○ 生徒の学習に対する主体性が高まり、学力意欲の向上もみられた。○ 愛知県内の科学技術に関わる先進的教育活動の発表の場である「科学三昧」という研究発表大会で成果を報告した。

イ 生徒に充足感を与えられることができる教育活動の推進について


主な取組	自己評価結果
<p>(ア) 稲東祭(文化祭・体育祭)の充実を図り、生徒に達成感をもたせる。 【特別活動部・各学年】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稲東祭実行委員会の生徒が主体的な姿勢をもって企画・運営に取り組むことができた。 ○ 稲東祭事前アンケートによれば、1年生 56.9%、2年生 61.6%、3年生 75.1%の生徒が、稲東祭を楽しみにしていた。また、稲東祭実行委員会のスタッフは、生徒会役員も入ると40名にもものぼり、意欲・意識の高まりを感じている。事後のアンケートでは96%の生徒が満足したと感じている。(平成25年度97%)
<p>(イ) 部活動を活性化させ、参加率が1年生は70%以上、2年生は50%以上になることを目指す。【特別活動部・各学年】</p>  <p>全国高校選抜レスリング大会 愛知大会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月調査では、休まず参加した42.9%、ときどき参加22.4%、参加していない34.9%である。1年生の定着率に課題がある。 ○ レスリング部が全国大会への出場を果たし、本校生徒の大きな自信になった。  <p>野球選手権大会愛知大会での応援</p>
<p>(ウ) ボランティア活動の推進。【特別活動部】</p>  <p>いなッピーとともに交通安全啓発運動 (マナーアップ作戦)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校周辺の清掃活動である境界なき清掃団では積極的に参加する生徒約40名の参加があった。 ○ ブラッシュアップ週間にあわせ、朝のあいさつ運動を稲東祭実行委員会、生徒会執行部が実施した。 ○ 「稲沢市障害者ボーリング大会」をはじめとする地域活動にボランティア部が積極的に携わり、自己有用感の醸成につながった。

ウ 自ら将来を考えるキャリア教育の充実について

主な取組	自己評価結果
<p>(ア) インターンシップへの積極的な参加を促し、コミュニケーション能力や望ましい勤労観・職業観を育成する。 【進路指導部】</p>  <p>アクアトト岐阜でのインターンシップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事後アンケートを見ると、参加生徒は、高い充実感をもった。 ○ 一宮税務署、稲沢消防署、アクアトト岐阜を本年度新たにインターンシップ先として、生徒を参加させた。  <p>名古屋空港でのインターンシップ</p>

<p>(イ) 各学校行事において、クラスの中の役割を明確にする。グループの中で果たす自分の役割を自覚させる。 【特別活動部・各学年】</p>	<p>○ 稲東祭を楽しむことができたと答えた生徒が96%にのぼったが、稲東祭の準備は中心となる生徒に頼る傾向が見られた。ただし、事後アンケートでは多くの生徒が他者のがんばりを評価していた。</p>
<p>(ウ) 個々の適性に応じた進路指導を充実させ、具体的なデザインのための講演会を実施する。 【進路指導部・各学年】</p>	<p>○ 3年間を見通し、適切な時期に講演会等を実施し、進路意識をもたせることができた。 ○ 1年生に社会人講師による講演会を行い、職業意識をもたせることにつながった。</p>

エ 本校の教育活動をよりよく伝えることのできる情報発信方法について

主な取組	自己評価結果
<p>(ア) 8月の中学生体験入学、10月の中学生学校説明会の内容を充実させ参加者を増やす。 【教務部】</p>  <p>体験入学での授業</p>	<p>○ 夏の体験入学、10月の中学生学校説明会でも在校生との懇談を取り入れた。本校生徒にとっても学校への帰属意識を高めるうえで成果があった。 ○ 夏の体験入学で昨年度を上回る412名、また、秋の中学生学校説明会では90名の参加があった。</p>
<p>(イ) 本校広報紙、「稲東だより」の配付・掲示の充実。 【特別活動部】</p>	<p>○ 「稲東だより」を昨年度と同様、4月、7月、8月、10月、1月の年間5回発行した。 ○ 近隣地域の区長さんをお願いをし、回覧板に「稲東だより」を入れてもらうようにした。地域の掲示板や商店などへの掲示のお願いはできなかった。</p>
<p>(ウ) 学校案内、ホームページのリニューアル 【総務部】</p>	<p>○ より魅力ある紙面構成を心がけた。稲沢市内の中学3年生には全員に配布した。 ○ ホームページの更新を、昨年度の学期に1回から今年度は毎週行うこととし、できるだけ新鮮な情報を伝えることに努めた。</p>

(4) 学校関係者評価委員会での御意見



生徒の心持ちが変わったという感じを受ける。付和雷同的ではなく自分を見つめながら考える姿勢がある。授業については生徒とともに考えながら進めていく部分も見受けられるが、先生が「一方的に教える」というところがある。知識技能の伝達のみが授業ではなく、生徒とともに活動する必要がある。板書の構造化については改善している。
普通科の魅力を発信していくことはなかなか難しいが、価値観が多様化しているので、稲沢東高校の独自性を考え、それを伝えていく努力を怠ってはいけない。

2 平成27年度の重点目標等

(1) 平成27年度の重点目標

- ア 学ぶ意欲の喚起を目指した授業改善の推進
- イ 自己肯定感・自己有用感・帰属意識の醸成
- ウ 望ましい未来像設計（フューチャーデザイン）の啓発

- エ 保護者・地域・中学校への情報発信の充実
 (2) 重点目標の達成に向けた取組
 ア 学ぶ意欲の喚起を目指した授業改善の推進

主な取組	具体的方策
<p>(ア) 生徒の取組の意欲を喚起する魅力ある授業づくりを行う。また、学習評価についてさらに研究を進める。 【教務部・各学年】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業参観週間に研究授業を実施し、批評・論述・討論などの言語活動を充実させ生徒が主体的に活動する授業づくりを研究するとともに、教科の枠を越えて参観できる環境をつくる。 ○ 言語活動の充実を目標とした指導要領を高等学校より先に実践している中学校の授業を参観し、授業改善の一助とする。 ○ 課題の提示の仕方、課題提出後の処理を工夫し、家庭学習の充実を図る。 ○ 板書・発問と回答方法に工夫を凝らし、コミュニケーション能力を重視した授業方法を構築する。 ○ 学習学力検討会を資料に基づいて、検討できるようにし、各教科と学年が歩調をそろえて指導できる体制を作る。
<p>(イ) 生徒が落ち着いて授業を受けられるよう、学習環境の改善に努める。 【教務部・保健厚生部・生徒指導部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身だしなみも含め、学ぶ環境を整え、授業に臨むよりよい姿勢「学びの構え」を身に付けさせる。(教室の掲示物を整え、ロッカー周辺の私物の整理を徹底する。授業中は机上に不要な物を置かせない。)
<p>(ウ) 高大連携事業等の充実 【教務部】</p>  <p>名古屋文理大学の研究室インターンシップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度実施してきた SPP 関連の事業を引き継ぎ、さらに発展させる。外部機関と連携した講座を設ける。また、エネルギー教育推進事業の指定校となり、大学だけでなく他の施設との交流を通し、それを通して、学習意欲の向上を計る。 ○ 大学の教員による講義の実施や生徒を研究室に派遣することなどにより、生徒が主体的に学習する姿勢を育成する。

イ 自己肯定感・自己有用感・帰属意識の醸成

主な取組	具体的方策
<p>(ア) 稲東祭(文化祭・体育祭)の充実を図り、生徒に達成感をもたせる。 【特別活動部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稲東祭実行委員会の活動を稲東祭にとどまらず、いろいろな場面で充実させ、より主体的に活動できるようにする。 ○ 具体的なテーマを設定し、アイデアを絞り込みやすくする。
<p>(イ) 部活動を活性化させ、参加率が1年生は70%以上、2年生は50%以上になることを目指す。 【特別活動部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動紹介を全校生徒が参加する行事として実施し、部活動への参加意欲を高める。1・2年生は全員部登録をし、積極的に活動し所属意識を高めるようにする。 ○ 職員室前に部活動の広報スペースを作り、意欲を喚起する。 ○ 7月、9月、3月に部活動参加状況調査を実施し、生徒の活動意欲の変化に対して、よりきめ細かな助言ができるようする。

(ウ) ボランティア活動の推進。【特別活動部】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全マナーアップ作戦、境界なき清掃団、奥田駅周辺の清掃を継続し、公共の場での活動に取り組みさせる。 ○ 事前啓発を充実させ、参加人数を維持しながら、取組の意識を向上させ、質の高いボランティア活動を行う。 ○ 他分掌と連携し、校内美化活動などを実施する。
-------------------------	--

ウ 望ましい未来像設計（フューチャーデザイン）の啓発

主な取組	具体的方策
(ア) インターンシップへの積極的な参加を促し、コミュニケーション能力や望ましい勤労観・職業観を育成する。 【進路指導部】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度に続き、名古屋空港や地域の催しにおいてインターンシップの機会を設け、積極的な参加を促す。 ○ 協力していただける事業所の新規開拓に努める。 ○ 事前と事後の指導を充実し、インターンシップとしての指導方法を確立する。 ○ 事業所との打合せの段階から生徒を参加させ、主体性を育む。
(イ) 各学校行事において、クラスの中の役割を明確にする。グループの中で果たす自分の役割を自覚させる。 【特別活動部・各学年】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稲東祭の事前アンケートに、自分ができること、やってみたいことを記述させ、事後アンケートにその振り返りをさせる。 ○ アンケート結果をフィードバックし、面談等を通じて、リーダーとフォロアーが互いに協力し合う関係を形成していく。
(ウ) 個々の適性に応じた進路指導を充実させ、具体的なデザインのための講演会を実施する。 【進路指導部・各学年】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の講演会を工夫し、各学年の進路選択の時期に合ったものを配置する。 ○ 進路希望に応じた各種テスト・検査も活用し、講演会とともに個々の生徒に学習目標をもたせる。 ○ 自らのあり方・生き方を考えることができるよう様々な外部講師を積極的に活用する。

エ 保護者・地域・中学校への情報発信の充実

主な取組	具体的方策
(ア) 8月の中学生体験入学、10月の中学生学校説明会の内容を充実させ参加者を増やす。 【教務部】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 26 年度の参加者アンケートで在校生が笑顔で生き生きと運営に携わっていたことが高い評価を得ていた。今年度もできるだけ多くの在校生や卒業生に運営の補助を求め、本校の魅力を伝える工夫をする。 ○ より多くの中学生や保護者の参加が得られるよう広報に努める。 ○ アンケート結果から、中学生、保護者ともきめ細かな進路指導について関心が高いため、具体的なアピールに努める。
(イ) 本校広報紙、「稲東だより」の配付・掲示の充実。【特別活動部】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の掲示板、公共的な場所、商店等に掲示していただけるよう地域に協力をお願いする。
(ウ) 学校案内、ホームページのリニューアル、LINE 公式アカウントである LINE@ 【総務部他】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の教育活動をよりわかりやすく伝えるため、デザインや内容を見直し、中学生をはじめとする閲覧者のニーズに応じた情報の提供に努める。